



千葉県立船橋高等学校定時制課程のウェブページにアクセスしていただきありがとうございます。

この度、県立船橋高等学校の校長として着任いたしました 風戸 正（かざと ただし）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

100年の歴史と伝統のある本校への赴任にあたり、たいへん光栄に思うとともに、とても身の引き締まる思いであります。生徒のために何が必要か、また何をすべきかを念頭に、職員が一丸となって教育活動に取り組んで参ります。

さて、本校は大正9年（1920年）に船橋大神宮の宮司が私財を投じ、教場とした船橋中学院に始まり、その後、船橋中学校、船橋市立船橋中学校、千葉県立船橋中学校、昭和23年の学制改革により千葉県立船橋高等学校となり、公教育の体制と基盤を築いてまいりました。創立100年の節目となる令和元年（2019年）に校訓を「専心研学」として定め、第2世紀に向け新たに歩みだしています。

定時制の課程につきましては、前進となる夜間課程が昭和23年に設置され、2年後の昭和25年に定時制の課程と改められ今日に至り、70年を越える歴史があります。

全日制と定時制を併せて3万人を超える卒業生を輩出し、各方面のリーダーとして国内外を問わず活躍しています。

定時制課程は、昨年度から県立行徳高等学校と統合するとともに、入学生から総合学科として新たにスタートし、2年目を迎えています。今年度は、14学級に約200名の生徒が在籍しています。特に、3年次以上の生徒は、船橋高校定時制の教育課程を履修する生徒と行徳高校定時制の教育課程を履修する生徒がいます。さらに、1・2年次の生徒は、新しい総合学科としての教育課程を履修することになります。教育課程が異なる生徒たちが混じり合いながらも、それぞれが個性を認め合いながら、学びたいという意欲のもと切磋琢磨しながら学校生活を送っています。

夕方からの登校となりますが、元気に登校し、昇降口で多くの先生方に迎えられ「おはよう」「こんにちは」の声のもと一日がスタートしていきます。

生徒一人ひとりの登校する姿には、嬉しく思うとともに、この後の授業も頑張りたいと応援したくなります。

最後に、本校職員は、皆さんの学習支援はもちろんのこと、日常の生活から卒業後の進路指導まで、一人ひとりに寄り添った丁寧な指導に努めています。どうか生徒の皆さん、わからないことや困ったことがあったら、一人で抱え込まずに職員に相談してください。きっと気持ちが楽になることでしょう。

私達は、「船定＝フナテイ」の生徒の成長を全力を挙げて支援して参ります。